

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	1年づつ、年を重ねるごとに、体力の衰え、認知症状の進行は否めない状況にあるので、少しでも今を維持するために個別を意識した機能訓練を行う。	個人の動きを把握し、日常生活で継続できる機能訓練を実施する。	個別の身体機能を評価するためにバーセルインデックスを活用しながら、具体的な取り組みを行い、緩和と現状維持を目指す。	12ヶ月
2	34	年2回の避難訓練を行っているが、何れも日中における避難誘導と、水消火器での消火、通報訓練なので、夜間を想定した避難訓練の実施を検討する。	夜間、一人体制なので災害時、もしくは救急を想定した心構え、動きを確認し、いざという時のために自信をつける。	タイコー警備保障の協力も得ながら、事業者、職員間の連絡網など実際の動きをシミュレーションする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。